

単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善（例）

【学 年】 小学校第3学年

【単元名】 小単元「こん虫のからだを調べよう（めざせ！こんちゅう博士）」（5時間扱い）

【育成する資質・能力】

〔知識及び技能〕	〔思考力, 判断力, 表現力等〕
(1)ア(イ) 昆虫の育ち方には一定の順序があること。また, 成虫の体は頭, 胸及び腹からできていること。	(1)イ 身の回りの生物の様子について追究する中で, 差異点や共通点を基に, 身の回りの生物と環境との関わり, 昆虫や植物の成長のきまりや体のつくりについての問題を見いだし, 表現すること。

【主な学習活動と留意点】

前単元からのつながり: 「こん虫の育ち方」キアゲハやモンシロチョウの卵を見つけ, 卵から幼虫が出てくる様子や, さなぎからチョウが羽化する様子を観察する。

働かせる見方・考え方: 昆虫の体のつくりの共通性と多様性に着目して, それらを比較しながら調べること。

段階	学習活動	留意点
見 通 し を も ち	1 「いたずら博士の科学の本・足なんぼん？」をみんなで読んで, 生き物は種類によって体のつくりや足の数が異なっていることに興味をもつ。(1)	<p style="text-align: center;"><b>こん虫の体のつくりに興味をもつ場面</b></p> <p>☞一学期に学習してきたこん虫の体のつくりに興味をもてるように, 絵本を使って導入を工夫する。抵抗感のない虫の絵と登場するいたずら博士の問いかけから, こん虫の体のつくりに着目できるようにする。</p>
子供の願い: こん虫の体のつくりはどうなっているのか調べたい。		
追 究 し て	2 虫の絵カードを仲間分けする活動から, 虫を仲間分けするためにどんなことに着目したらよいか考える。(1) 3 学校の回りにいる昆虫を捕まえて, 体のつくりを調べてみる。(2)	<p style="text-align: center;"><b>こん虫の体のつくりの着目点を明らかにする場面</b></p> <p>☞虫の絵がかかれたカードを自由に分類する活動から, 体のつくりの違いに着目して, 体のつくりと足の数を基準に分類していくことを子供たち同士で確認できる場面をつくる。 ☞さらに, その基準を基に実際のこん虫の体を観察する活動を位置付ける。</p>
振 り 返 る	4 昆虫の体を模型でつくってみる。(1)	<p style="text-align: center;"><b>学んだことをまとめて整理する場面</b></p> <p>☞自分の捕まえて調べたこん虫のからだのつくりを模型づくりを通して確認できる時間を位置付ける。</p>

次単元へのつながり: こん虫の生活(2)

飼育しているチョウやカブトムシがどのように生活していくのか観察し, こん虫の生活環境を調べる。